

順天堂医院ニュース 2003

No.5

(奇数月1日発行)

目次

- 1ページ：新任教授紹介 眼科 村上 晶
緩和ケアセンター open!
- 2ページ：特集「花粉症」
- 3ページ：病院の食事について・事務部門紹介
- 4ページ：教室紹介 栄養教室・膠原病教室・糖尿病性腎症教室

新任教授紹介



眼科 村上 晶

眼科疾患全般に対応して診療を行っており、必要に応じて他科の協力をお願いして総合的な治療が行えるよう努めています。小児は専門外来を設けています。コンタクトレンズや屈折矯正手術など、QOL向上のための治療も積極的に取り組んでいます。

緩和ケアセンター OPEN

平成15年1月1日より、入院患者さまに対する新しいケアサービスを行う部署として緩和ケアセンターが設立されました。「緩和ケア」とは、担当医師や担当看護師が行う治療や看護を補助する形で、痛みをはじめとする不快な身体症状・不安や抑うつなどの精神症状など様々な苦痛を和らげ、患者さまの生活の質を向上させるためのお手伝いをするを目的としております。「緩和ケア」の対象となる方は入院中の患者さまに限られておりますが、ペインクリニック医師・メンタルクリニック医師・専門看護師で構成された「緩和ケアチーム」が、担当医師および病棟スタッフと連携をとりながらチームで診療にあたらせていただきます。ご質問などがございましたら、担当医師または担当看護師までお尋ねください。



特集 花粉症



いよいよスギ花粉の季節となりました。今年も1月下旬から2月上旬に始まり多くの花粉が飛散することが予想されています。

花粉症とはスギ花粉が原因で引き起こされる鼻炎で、くしゃみ・水性鼻漏（水のような鼻水）・鼻閉（鼻づまり）が主な症状です。花粉症のうち最も多いスギ花粉症の患者さまは全国民の16.2%にも達しています。当院では薬物治療、手術治療を行っております。花粉症には早めの受診、治療をお勧めします。早めの治療で症状が強くなることを抑えます。また、ニュースの花粉情報に注意し、花粉の多い日の外出にはマスクやめがねをつけることをお勧めします。「先手必勝」でつらい花粉の季節をともに乗り越えましょう。花粉症でお困りの患者さまは耳鼻咽喉科にご相談ください。



耳鼻咽喉科 榎本 冬樹

花粉症はスギ花粉等が目や鼻の粘膜より侵入し、アレルギー症状を起こす病気です。目の症状としては痒み・目やに・流涙・充血・異物感等です。予防策としては、花粉を近づけないことが大切です。防御メガネをして花粉が目に入らないようにしたり、人工の涙（人工涙液）を頻回に点眼することで花粉が目に入っても貯留しないよう気をつけます。最近花粉の飛散期前より予防的に抗アレルギー剤の点眼をしておく、症状が軽減するという報告もあります。それでも発症してしまった時は、眼科を受診してください。治療の基本は抗アレルギー剤やステロイドの点眼ですが、症状の強い時は軟膏や内服も処方します。お困りの時は我慢をせずに気軽にご相談ください。

眼科 海老原 伸行（アトピー外来担当）



病院の食事について



病院にご入院されておられる患者さまに出される食事は大きく二種類に分けられます。一つは、糖尿病や腎臓病などの患者さまを対象とした「治療食」で病気の治療を直接の目的とするもので、食事のエネルギーやたんぱく質などをコントロールする食事療法の手段としての食事です。もう一つは、「一般食」と呼ばれるもので、一般的な手術や骨折、出産など食事に制限のない患者さまを対象とするものです。病院給食の目的は、肉体的な健康を回復することと精神的な安定を得ることを主眼とし、治療の一環となっており、正に医食同源の内容を具備していると云えましょう。



栄養部長
佐藤 節夫

担当医師、看護師と連携を密にし、治療を妨げないものならば出来る限り取り入れて、家庭での雰囲気や損なわぬよう快適な食生活を送っていただくよう努力しております。食事の重要なポイントは、安全でおいしいことと、栄養のバランスが取れていることが大事です。上記内容を第一とし、スタッフは心を込めて患者さまの一日も早い回復を願って「楽しみな食事」にすべく全力投球いたしておりますので、ご意見・ご要望などがございましたら遠慮なくステーションに備え付けの「皆様の声」を通じてお寄せください。

事務部門紹介



事務部長
黒田 稔

事務部はご通院、ご入院の皆様方へ少しでもご満足いただけるよう病院にお入りになってからお帰りになるまで以下の6課において、あらゆるサービスや環境作りを志し改善の努力をしております。

- 医事課：患者さまが診察をお受けになるための受付業務や入院予約及び入退院手続き、会計計算事務を行っています。
- サービス課：患者さまの誘導、お見舞いの方へのご案内、受診相談、栄養教室他各種教室、アイバンクの申込み等行っています。
- 管理課：病院全般の庶務業務を担当、また患者さまへ常日頃院内の環境サービスを維持できるよう清掃部門も担当しています。
- 警備課：患者さまが安心して外来診察、入院治療が受けられるよう、防犯のため周囲に目をひからせ昼夜を問わず取り組んでいます。
- 薬品供給課・資材供給課：患者さまがお使いになるお薬の購入と受診にかかわる医療機器、医療材料等の購入を担当しています。



まだ行き届かないことが多々ありご不便をおかけしていることと思います。お気づきの点はご遠慮なくお申し付けいただければと存じます。

教室紹介

栄養教室

病気と食事について正しく理解し、日々規則正しい生活をおくることが何よりも大事なことです。当院では内科の専門医師と管理栄養士による「腎臓病」と「糖尿病」の栄養教室を開催しています。入院・外来を問わずご家族も含めどなたでも出席できます。

1. 申込先

入院：病棟ステーション 外来：サービス課

2. 開催日時・場所



対象	開催日	時間	場所
腎臓病	毎月第3金曜日	13:30～15:30	栄養相談室 (1号館1階)
糖尿病	毎月第1～4火曜日	10:00～12:00	
<備考> 腎臓病：全1回 糖尿病：全4回(4回とれない月は休講となります)			

3. 受講料(テキスト代を含みますが、消費税は別途ご負担いただきます)

①【腎臓病】1,000円 ②【糖尿病】入院：2,500円 外来：3,000円

膠原病教室

膠原病内科では膠原病教室を開催しています。当科医師から膠原病疾患の症状、治療、日常生活についての注意点などを、また、医療福祉士より膠原病患者さまが受けられる医療費助成について、栄養士から膠原病患者さまの食事の内容等について、質問をお受けしながらお話しています。皆様のお越しをお待ちしております。

開催日 奇数月の第1、第3火曜日

時間 14:00～15:30

申込先 サービス課



糖尿病性腎症教室

当教室は糖尿病で腎臓が悪くなっていると言われた方々を対象とし、患者さまの疑問や不安についてお答えする教室です。食事内容、生活習慣の改善やその他の治療法についてお話しします。また、糖尿病で透析が近いと言われた方についてもご説明いたします。

開催日 毎月第1火曜日 時間 9:00～10:00 申込先 サービス課

順天堂大学医学部附属順天堂医院

〒113-8431 文京区本郷3-1-3

TEL：03-3813-3111 (大代表)

ホームページ：<http://www.tokeidai.co.jp/juntendo/>

イラスト：高澤 智美 構成：杉田 塩